

# 自然教育園のアリ類

進藤正男\*

Ants of the Institute for Nature Study  
based on the 1987-1989 Investigations

Masao Shindo\*

自然教育園のアリ類については、近藤(1966)が6種、進藤(1981)が11種報告しているが、いずれも種類数が少ないので、今回は種類数を把握する目的で調査をした。

調査は1987年9月12日から1989年7月26日まで延べ10回行なった。採集方法はハンドソーティング、ツルグレン装置それに蜂蜜、ピーナッツバター、粉チーズ、小麦粉、洋酒でつくった餌によるトラップを使って行ない、3亜科19属31種が確認された。以前生息が確認されている3種(*Ponera scabura* テラニシハリアリ、*Proceratium watasei* ワタセハリアリ、*Camponotus obscuripes* ムネアカオオアリ)が今回採集されていないので、自然教育園内には少なくとも34種が生息していることになる。

スダジイやアカガシなどの照葉樹の大木があるので、暖帯性で林床性の蟻がかなりいると思われたが、林内にはいるとA<sub>0</sub>層が薄くA層が軟らかく土塊が少ないためか、予想していたより種類数は少なかった。また、草場が少ないためかクロナガアリも現時点では採集されていない。しかし、都内でありながら、山地性のムネアカオオアリからコツノアリやヒラタウロコアリなどの暖帯性の蟻が生息していることがわかった。

この文の起稿にあたり、同定等で助言をいただいた久保田政雄氏に厚くお礼を申し上げる。

## 採集リスト

### Subfamily PONERINAE ハリアリ亜科

#### 1. *Proceratium itoi* (Forel) イトウハリアリ

30-IV-'88, コナラ林の落葉の下から1頭だけ採集。働き蟻の体長(以下働き蟻の体長を示す)3mm。黄褐色から赤褐色の蟻で、カギバラアリ属という属名からもわかるように腹部が内側に釣針状に曲がっている。ワタセハリアリとは腹柄の形で区別できる。

#### 2. *Brachyponera chinensis* (Emery) オオハリアリ

9-IX-'87, 1-X-'87, 19-XII-'87, 30-IV-'89, 19-VII-'89, 26-VII-'89。

体長3.5mm。大腿と脚が褐色で他は黒色の蟻。園内では普通種で朽木の中、落葉の下、石の下に営巣。

\* 東京都立武蔵高校, Musashi High School, Tokyo

遊歩道でもよく見かける。

3. *Hypoponera sauteri* (Forel) ニセハリアリ

12-IX-'87, 23-I-'88, 4-VI-'88。

体長2mm。黄色から黄褐色の蟻。以前 *H.excoecata* としていたもの。ツルグレン装置を使うと採集しやすい種である。

**Subfamily MYRMICIDAE フタフシアリ亜科**

4. *Aphaenogaster famelida* (Fr.Smith) アシナガアリ

1-X-'87, 19-VII-'89。体長6~7mm。赤味をおびた黒褐色の光沢のある細長い蟻。夏場、日当りのよい遊歩道でみかける。

5. *Pheidole fervida* Fr. Smith アズマオオズアリ

12-IX-'87, 23-IX-'87, 1-X-'87, 27-XII-'87, 16-IV-'88, 30-IV-'88。

体長2.5mm。兵蟻は4~5mm。黄褐色で脚が明るい黄褐色の蟻。普通種で林内の落葉の下や朽ちた木の実の中、および草地の石の下などに営巣。

6. *Leptothorax congruus* Fr. Smith ムネボソアリ

12-IX-'87, 27-XII-'87, 23-I-'88, 26-VII-'89。

体長2.5mm。黒褐色で名の通り胸が細い。細い枯枝中に営巣。

7. *Leptothorax congruus* var. *spinosior* Forel ハリナガムネボソアリ

30-IV-'88。前種と似ているが、後胸刺が長いところで区別できる。

8. *Tetramorium caespitum* (Linnaeus) トビイロシワアリ

23-IX-'87, 30-IV-'88, 19-VII-'89。

体長3mm。黒褐色で腹部は黒光りしている。頭部、胸部に縦じわがある。普通種で日当りのよい遊歩道でよくみかける。草の根元や石の下に営巣。

9. *Monomorium intrudens* Fr. Smith ヒメアリ

19-VII-'89, 26-VII-'89。体長2mm未満。黄褐色で腹部が黒く光沢がある。普通枯れた細い竹や枝の中に営巣するが、今回は夏場に遊歩道のベンチ上を歩行しているのを採集しただけである。以前、*M. nipponense* としていた種。

10. *Solenopsis japonica* (Wheeler) トフシアリ

30-IV-'88, 体長1.5mm。黄色から黄褐色でのっぺりした蟻で触角が10節ある。いずれもスダジイ林内でトラップで採集。

11. *Oligomyrmex sauteri* Forel コツノアリ

12-IX-'87, 1-X-'87。体長1mm弱、兵蟻は2mm。黄色から黄褐色でさわると丸くなる。死んでしまうとみつけにくい程小さい。

暖帯性の蟻であるが、園内では結構普通種的な蟻。土中の朽木や朽ちた木の実の中に営巣。

12. *Vollenhovia emeryi* Wheeler ウメマツアリ

12-IX-'87, 1-X-'87, 16-IV-'88, 26-VII-'89。

体長2~2.5mm。赤褐色で細長い蟻。林内の土中の朽木や朽ちた木の実の中に営巣。日当りのよい遊歩道でもみかける。

13. *Pristomyrmex pungens* Mayr アミメアリ  
12-IX-'87。体長3～3.5mm。褐色から暗褐色で腹部は光沢があり丸味のある蟻。頭部・胸部・腹柄に網目状のしわがある。普通種で林内や林縁を行列で歩行しているのをよくみかける。
14. *Crematogaster laboriosa* Fr. Smith ツヤシリアゲアリ  
12-IX-'87, 1-X-'87, 27-XII-'87, 30-IV-'88。体長3～3.5mm。暗褐色で腹部後半が黒色。枯れ枝中に営巣。樹上にいるのをさわると樹皮にぴたっとくっつく。以前トビロシリアゲアリとっていた種。
15. *Crematogaster matsumurai* Forel ハリプトシリアゲアリ  
30-IV-'88, 19-VII-'89, 26-VII-'89。前種に似ているが、後胸刺が太くて短いところで区別できる。
16. *Crematogaster osakensis* Forel キイロシリアゲアリ  
23-IX-'87, 4-VI-'88, 19-VII-'89, 26-VII-'89。体長2.5～3mm黄色から黄褐色で頭部と腹部は色が濃い。林内から湿った草地に生息。トラップでもよく採集できる。
17. *Strumigenys lewisi* Cameron ウロコアリ  
12-IX-'87, 1-X-'87, 19-XII-'87, 16-IV-'88。体長2～2.5mm。黄褐色で腹柄と腹部前部に白色の付属物がついており、大腿は細長い。普通種で林内の朽木や朽ちた木の実の中に営巣。動きが遅い。
18. *Pentastruma canina* Brown & Boisvert ヒラタウロコアリ  
19-XII-'87, 4-VI-'88。体長2mm。前種同様白色の付属物がついている。いずれも朽ちた木の実の中に営巣。都内では珍しい種。

#### Subfamily FORMICINAE ヤマアリ亜科

19. *Paratrechina flavipes* (Fr. Smith) アメイロアリ  
12-IX-'87, 1-X-'87, 19-XII-'87, 16-IV-'88, 30-IV-'88, 4-VI-'88, 19-VII-'89。  
体長2～2.5mm。赤褐色から黒褐色でデアリに似ているが、触角が長いことや腹柄で区別できる。普通種で林内の落葉の下、朽ちた木の実、林縁の石の下などに営巣。
20. *Paratrechina sakurae* (Ito) サクラアリ  
23-IX-'87, 1-X-'87, 19-VII-'89。  
体長1.5～2.0mm。淡黄褐色で前種より小型で脚が短い。
21. *Lasius niger* (Linnaeus) トビイロケアリ  
12-IX-'87, 23-IX-'87, 1-X-'87, 27-XII-'87, 30-IV-'88。体長3～4mm黒褐色の蟻。普通種で林縁の石の下や木の朽ちた部分に土や木くずでトンネルをつくり営巣。動きは速い。
22. *Lasius flavus* (Fabricius) キイロケアリ  
26-VII-'89。体長4mm。淡黄褐色の蟻。園内ではムクノキの根元を歩行しているのを採集しただけである。
23. *Lasius fuliginosus* (Latreille) クロクサアリ  
23-IX-'87, 19-VII-'89。体長4mm。黒褐色でつやがあり丸々としている。さわるとサンショウの実のような臭いがする。木の幹を列をなして歩行しているのをみかける。
24. *Lasius spathepus* Wheeler クサアリモドキ  
23-IX-'87。前種に似ているが、触角柄節が扁平なところで区別できる。
25. *Formica japonica* Motschulsky クロヤマアリ

- 23-IX-'87, 19-VII-'89。体長5~6mm。黒色で短い灰色の軟毛におおわれている。普通種で林縁や草地の土中や石の下に営巣。動きは速い。
26. *Camponotus japonicus* Mayr クロオオアリ  
23-IX-'87, 19-VII-'89。体長7~12mm。黒色であり光沢がない大型の蟻。普通種で日当りのよい遊歩道でよくみかける。
27. *Camponotus kiusiuensis* Santschi ミカドオオアリ  
23-IX-'87。体長7~12mm。黒褐色で光沢がある。竹の切株の中などに営巣するか、園内ではアカガシの樹上で1頭採集しただけである。
28. *Camponotus quadrinotatus* Forel ヨツボシオオアリ  
12-IX-'87, 1-X-'87, 19-XII-'87, 16-IV-'88, 30-IV-'88, 19-VII-'89。  
体長5~8mm。黒色で光沢がある。腹部第1節と第2節に各1対の白い円紋がある。  
普通種で枯枝中に営巣。
29. *Camponotus itoi* Forel イトウオオアリ  
12-IX-'87。前種に似るが円紋がない。枯枝中に営巣。
30. *Camponotus itoi* var. *nawai* Ito ナワヨツボシオオアリ  
16-IV-'88, 30-IV-'88。前種に似るが、前胸部が黄褐色以外は黒色のつやのある蟻で腹部第1節と第2節に各1対の白い円紋がある。枯枝中に営巣。
31. *Colobopsis nipponicus* Wheeler ヒラズオオアリ  
27-XII-'87。体長3~6mm。黒褐色で頭部の前部が平らに切れているのが特徴。枯枝中に営巣。

## 参 考 文 献

- 久保田政雄・近藤正樹・今井弘民。1966。圃場に見られるアリの見分け方。植物防疫。20(9), (10)。  
近藤正樹。1966。自然教育園の林内に生息するアリ。自然教育園の生物群集に関する調査報告, (1): 129-130。  
進藤正男。1981。自然教育園のアリ類。自然教育園報告, 12: 101-102。  
日本蟻類研究会。1988。日本産アリ類和名一覧。  
日本蟻類研究会。1989。日本産アリ類の検索と解説(1)。